

教科〔分野〕	技術・家庭科〔家庭分野〕	履修学年	第1学年	指導時間	35 単位時間	担当者	黒石 美由紀
使用教科書	新しい技術・家庭 (東京書籍)	補助教材	学習ノート B 食生活と自立 (正進社)	C 衣生活・住生活と自立 (正進社)			必修
目標	<p>【技術・家庭科】 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>【家庭分野】 衣食住などの関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。</p>						
評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解			
趣旨	衣食住や家族の生活などについて関心を持ち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。	衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造している。	生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。			
評価資料	○定期テスト ○学習ノートの課題への取組み ○ワークシート	○定期テスト ○学習ノートの課題への取組み ○ワークシート ○家庭での実践レポート	○定期テスト ○実技テスト ○作品 ○学習ノートの課題への取組み	○定期テスト			
指導計画							
月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び観点に応じた主な学習達成目標			
4	ガイダンス A 家族・家庭と子どもの成長 (1) 自分の成長と家族・・・ア	1	・3年間の学習内容を知ること。 (1) ア自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えること。	生活や技術への関心・意欲・態度	・3年間の学習に見直しを持ち、自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて関心をもって学習活動に取り組もうとしている。		
			言語活動 視写の方法や聞く姿勢や発言のマナー、話し合いの仕方、学習ノートや授業振り返り表の使い方など、学習規律について指導する。				
5	C 衣生活・住生活と自立 (1) 衣服の選択と手入れ (3) 衣生活、住生活などの生活の工夫 「生活に役立つ小物の製作」	1	・衣服のはたらきを考えよう ・洋服と和服の特徴を知る。	生活を工夫創造する能力	・衣生活と社会生活とのかかわりに関心を持ち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。		
			・ブックカバーの製作 アイロンかけ・まち針・しつけ				
6		1	・自分らしく着る	生活の技能	・目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫している。		
			言語活動 TPOを考えたお気に入りの服装をイラストや文章でまとめて、発表し、友達の影響や意見を聞いて、より良い着方について考える。				
			・生活に役立つ小物の製作 なみ縫い、本返し縫い		・目的に応じた衣服の適切な選択について考え、工夫している。		
			・既製服を選択するための情報を収集・整理することができる。				
7	C 衣生活・住生活と自立 (1) 衣服の選択と手入れ (3) 衣生活、住生活などの生活の工夫 「生活に役立つ小物の製作」	1	・衣服を選ぼう 既製服の表示を知る	生活や技術についての知識・理解	・補習の目的と布地に適した方法で衣服を補習することができる。		
			・生活に役立つ小物の製作 まつり縫い		・衣服の社会生活上の機能について理解している。 ・衣服の計画的な活用を理解している。 ・既製服の表示と選択に当たっての留意事項について理解している。 ・補修の目的と布地に適した方法について理解している。		
			・衣服を選ぼう 採寸方法を知る。				
			・1学期期末テスト				
8		1	・衣服の手入れと補修をしよう	生活や技術への関心・意欲・態度	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心を持ち、洗濯や補修の課題に取り組もうとしている。		
			・生活に役立つ小物の製作 まつり縫い	生活を工夫創造する能力	・衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修について考え、工夫している。		
			夏休みの課題：家の仕事を毎日行い、記録する。 特に洗濯に関することを必ずやる。	生活の技能	・衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の選択ができる。		
		1学期小計 (11)		生活や技術についての知識・理解	・洗濯の要点と方法について理解している。 ①衣服材料の手入れにかかわる性質 ②洗剤のはたらきと種類 ③電気洗濯機を用いた洗濯の特徴 ④汚れ方に応じた洗い方		

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び観点に応じた主な学習達成目標
9	C 衣生活・住生活と自立 (1) 衣服の選択と手入れ (3) 衣生活、住生活などの生活の工夫 「生活に役立つ小物の製作」	1	・衣服の手入れと補修をしよう	生活や技術への関心・意欲・態度 ・布を用いた物の製作に関心を持って取り組み、自分や家族の生活を豊かにしようとしている。
		1	・生活に役立つ小物の製作 まつり縫い、なみ縫い	生活を工夫創造する能力 ・衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫をしている。
		1	・衣服の計画と再利用について考えよう	生活の技能 ・安全で能率よく、布を用いた物の製作をすることができる。 ①目的に応じた縫い方 ②用具の安全な取扱い
		1	・生活に役立つ小物の製作	生活や技術についての知識・理解 ・布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。 ①材料と用具の選択 ②製作手順 ③目的に応じた縫い方 ④用具の安全な取扱い
10	(2) 住居の機能と住まい方	1	・住まいのはたらきとは何だろう	生活や技術への関心・意欲・態度 ・自分や家族の住空間と生活行為とのかかわりについて関心をもって学習活動に取り組んでいる。
		1	・生活に役立つ小物の製作	
		1	・家族と住まいのかかわりを考えよう 言語活動 間取り図を見て、家族それぞれに適する部屋割を各自で考えて、意見交流する。	生活を工夫創造する能力 ・室内環境について課題を見付け、調査・観察・実験などを通して、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫している。 ・安全で快適な室内環境に関心をもち、整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。
		1	・生活に役立つ小物の製作	
11		1	・健康で心地よく住むために	生活や技術についての知識・理解 ・住居の基本的な機能について理解している。
		1	・生活に役立つ小物の製作	・安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。 ①家庭内事故の防止や自然災害への備え ②室内の空気調節 ③音と生活とのかかわり
		1	・安全に住むにはどうしたらよだろう	
		1	・生活に役立つ小物の製作	
12		1	・より良い住まいと住み方を考えよう 言語活動 安全で快適な室内環境にしていくために工夫について考え、グループで意見交流し、より良い課題解決方法を考える。	
		2	冬休みの課題：家の仕事を毎日行い、記録する。特に洗濯と大掃除に関することを必ずやる。	
		2	2学期小計 (14)	
		1	・食生活と自立 (1) 中学生の食生活と栄養 (3) 日常食の調理	生活や技術への関心・意欲・態度 ・自分の食生活に関心をもち、健康によい食習慣について考え、日常生活で実践しようとしている。
1		1	・食事のとり方を考えよう	
		1	・栄養素のはたらきを知る	
		1	・調理実習の計画を立てる 言語活動 調理実習を班で協力して進めていくための役割分担について話し合い、ワークシートに記録する。	生活を工夫創造する能力 ・自分の食生活を点検し、課題を見付け、健康によい食習慣などについて考え、工夫している。
		2	・基礎的な日常食の調理実習	
2		2	・調理実習の振り返りとまとめ 言語活動 調理実習を振り返り、各自の反省をもとに、班で協力して実習を進めていく上で大切なことについて話し合い、ワークシートに記録する。	生活の技能 ・調理に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
		1	・学年末テスト	
		2	・1年間の振り返りとまとめ	生活や技術についての知識・理解 ・食事の役割や健康によい食習慣の重要性について理解している。 ・栄養素の種類と働きについて理解している。 ・食品や調理用具の安全と衛生に留意した取り扱い方について理解している。
		3	3学期小計 (10) 合計 (35)	
先生からのアドバイス	学習の進め方 (学習方法、学習形態等)		○男女それぞれ出席番号の前半と後半で学級を二つのクラスに分け、少人数で授業を受けます。 ○教室は主に被服室で男女混合の4つの班(4～5人)の席で、授業を受けます。 ○適当たり2コマ連続で時間割が組まれており、家庭科の授業を2時間連続で受け、次の週は技術を2時間受けるというように技術と家庭科は交互で学習していきます。 ○定期テストは年間3回、1、2学期は期末テスト、3学期は学年末テストを実施します。50分のテスト時間内に技術と家庭科の二人の担当の先生がそれぞれ作成した技術と家庭科各50点満点のテストを受けます。 ○技術・家庭科で一つの教科なので、通知票の評価は、技術分野と家庭分野の評価を1:1で合わせたもので出されます。	
	学習上の留意点 受講上の注意		○教室には早めに来て、作業の時は作業に取り掛かれる用意をし、復習テストが実施される時は前時までに学習したことを復習して覚えましょう。 ○授業道具を忘れず、授業に集中して取り組めるように、よく説明を聞きましょう。(分からないときは、すぐ友達に話しかけるのではなく、先生に質問してください。) ○ノートはいつでも書き、重要ポイントの色分けや、メモなどの工夫をするようにします。プリントは渡されたファイルにきちんととじて無くさないようにしましょう。 ○自己評価表はいつでも書き、自分の学習を振り返ることや頑張っている仲間を学び、次の学習に生かしましょう。 ○特別教室はみんなで使う場所です。次に来た人が気持ちよく使えるように、机の上の消しゴムのかすや折れたシャープペンシルの芯、机の下の糸くずなどごみが無いかな確認し、使用した椅子を机に上げて、机の中に忘れ物が無いかも確認して帰ります。 ○定期テストのときと、夏休み、冬休み後に出す提出物があります。確実に提出しましょう。 ○日頃から家の仕事(洗濯、掃除、食事前準備、片付け、買い物、ゴミ出し、など)は積極的にやり、家庭科で学習した事を生活に取り入れていきましょう。	